



図書館だより

No. 28

●専門図書館と図書館の原点

..... 上智学院理事長・キリシタン文庫所長 佐久間 勤

●教えて! ソフィアンくん

～ 第11回 電子資料について詳しくなろう! ～

●図書館からのお知らせ

●図書選定委員お薦めの本

..... 国際教養学部 国際教養学科 教授 SVEN SAALER



専門図書館と図書館の原点

上智学院理事長・キリシタン文庫所長

佐久間 勤



専門図書館（あるいは文庫とも呼ばれる）というと、専門外の一般の利用者には縁遠いと思われるかも知れない。それにOPACなどデータベース化された図書カタログを検索すれば必要な図書資料の情報を得られる時代に、特定の分野の図書を専門的に集める図書室はスペースとマン・パワーの無駄遣いと、否定的に見る人も居るだろう。情報・資料がデジタル化される趨勢は確実に図書館のサービス機能を変貌させつつある…。そんな中で敢えて専門図書館の魅力について語ってみたい。

紀元前三世紀エジプト王プトレマイオス2世は、アレキサンドリアに図書館を設け、世界のありとあらゆる書物を蒐集し、エジプトを最も知恵に富んだ国にしようと望んだ。しかし図書館を完成するにはヘブライの知恵が欠けていることに気づき、エルサレムから12部族各6人ずつの学者を招聘し、聖書をギリシャ語に翻訳させた。これは「70人訳」と称される旧約聖書の古代ギリシャ語訳誕生の経緯を記し、その権威を宣伝するために著された『アリストテレスの手紙』が物語るエピソードであるが、図書館が本来果たすべき機能についても示唆している。最も優れた知恵を、世界中から集め、いつでもアクセスできるようにする。このような図書館のイメージは現代の情報世界のダイナミックさからすれば、時代遅れのスタティックなものと批判されよう。しかし「最も優れた」知恵を蒐集するという活動にある「選定する」という機能は現代の図書館にこそ最も求められることだと思う。

情報は溢れるほどあり、刻々と発刊される図書などをすべて受け入れるわけにはいかない。スペースの限りがあり、新たな図書資料を受け入れれば、反対に破棄も不可避となる。何を受け入れ、何を残し、何は廃棄して他に場所を譲らせるのか、つまり選定という不可避の作業がやがて図書館を特徴付ける図書資料のコレクションを生み出していく。長年の内に形成されたコアとなるコレクションが、図書館や研究機関の価値観なりヴィジョンを目に見える形にしてくれる。

このような図書館の本来の機能は専門図書館によく表れている。私は、キリシタン文庫、神学部図書館（石神井分館）、そして旧上智会館二階にあった聖三木文庫の運営に関わってきたが、それぞれキリシタン版とそれに関係する文献・歴史資料、神学を中心とした文献、キリスト教文学など芸術文化を中心とした文献の蒐集、公開に特化した図書館である。専門に特化しているので資料を見つけやすいとしても、それが専門図書館の価値のすべてではない。スタッフが資料を熟知していて、利用者のあらゆる相談に応じられるということも大きなメリットであるが、それで専門図書館の意義のすべてが満たされるわけではない。むしろ選り抜かれ後代に伝えるべき価値が認められる資料に直接触れることができる所に最高の意義がある。しかもそのオリジナルにである。実際、キリシタン文庫では歴史的にも計り知れない価値をもったオリジナル資料であるキリシタン版が所蔵されている。他の専門図書館・文庫も同様に、一般図書館では古くなって廃棄されがちな資料が大切に保管され蓄積されている。因みにヴァチカン図書館は、オリジナル資料の蒐集に特化して、印刷物にはさほど関心をもたないそうである。マニュスクリプト、つまり原稿など人の手で直接作成された資料にこそ、保存する価値を認めるのだとか。そうであればこそ世界稀な歴史資料や記録の宝庫となったのである。

図書館の原点を目の当たりにするために、一度専門図書館を訪れてみてはいかがであろう。



教えて! Q&A ソフィアンくん

～ 第11回 電子資料について詳しくなろう! ～

図書館には、図書や雑誌といった紙媒体の資料のほかに、電子ブック、電子ジャーナル、データベースといった電子資料があります。みんなはその違いを知っているかな?これらのツールを使いこなせば、レポートの質も変わってくることも間違いなし。それぞれの特徴を理解して、勉強に役立ててみてね!

電子ブック って何?



図書の形で出版されていた著作物を、電子化して、インターネット上で全文閲覧できるようにしたもの。E-Bookや電子書籍とも呼ばれているよ。

現在では主に、古い文学作品や専門学術書、辞書・事典などが電子ブック化されているよ。

電子 ジャーナル とは?



雑誌(特に学術雑誌)の記事を電子化し、インターネット上で全文閲覧できるようにしたもの。Online JournalやE-Journalとも呼ばれているよ。

冊子体と並行して出版される場合と、電子版のみの場合があるんだ。また、冊子体の発行前に、Web上で論文が閲覧できる場合もあるよ!

「電子ブック」 「電子ジャーナル」は こんなところが便利

インターネット上で閲覧できるだけでなく、全文または一部を印刷したり、自分のメディアに保存したりすることができるよ。

データ ベースって?



データを整理して保存し、キーワードなどから効率的に検索できるようにしたもの。データベースの種類は多様で、OPACのように図書や雑誌の書誌情報や所蔵情報が検索できるものから、統計のような数値情報、雑誌や新聞の論文・記事、事典、辞書、判例集などを検索・閲覧できるものなどがあるんだ。

データベースから 閲覧できる電子ブックや 電子ジャーナルも あるよ。

**電子資料を利用する
ときには、学内ネット
ワークに繋がっている必要があります。**
学外から利用するときには、VPN接続の設定を忘れずにね!

(VPN接続については、情報システム室HPで確認してね。
図書館 HP> 情報検索からもアクセスできます。

https://ccweb.cc.sophia.ac.jp/userguide/service/sv_04/

電子資料について理解できたかな？

さらに今回は電子ブックの検索について詳しくなろう！

ここでは、新しく導入した“Cambridge Core”から閲覧できる電子ブックを探してみよう。



まず、“e-Resources Access Page”にアクセス。

図書館HP > 情報検索 >

e-Resources Access Page



1 キーワードから探す

電子ブックのタブを選択したら、「書籍タイトル～」のキーワード欄に興味のあるキーワードを入力。すると、キーワードの含まれるタイトルが検索されるよ。



表示された検索結果のうち、“Cambridge EBA 2018”の表記があるものが、“Cambridge Core”に収録されているもの。



“Cambridge EBA 2018”をクリックすれば、電子ブックにアクセスできるよ。



2 分野から探す



キーワードが思いつかないときには、分野から探すという方法もあるよ。



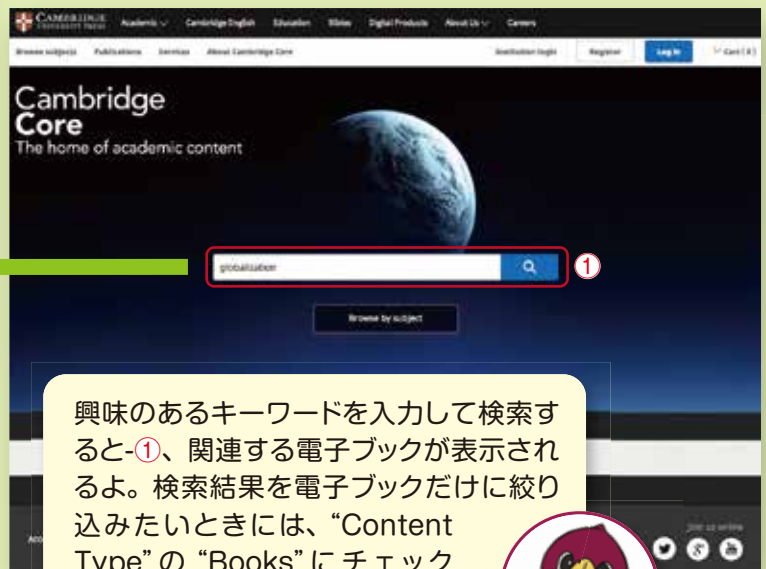
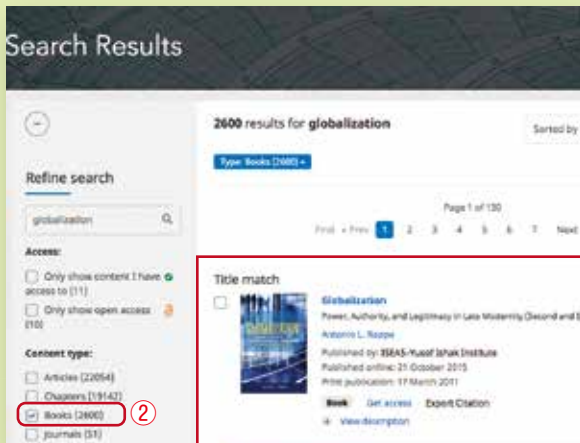
3 “Cambridge Core” の検索画面から探す

“Cambridge Core” はケンブリッジ大学出版局の電子ジャーナルや電子ブックが横断検索できるプラットフォーム。他にもSpringerやOxfordが同じようなプラットフォームを持っています。これらのプラットフォームは、『Eリソースをキーワードで検索』からアクセスすることができるよ。

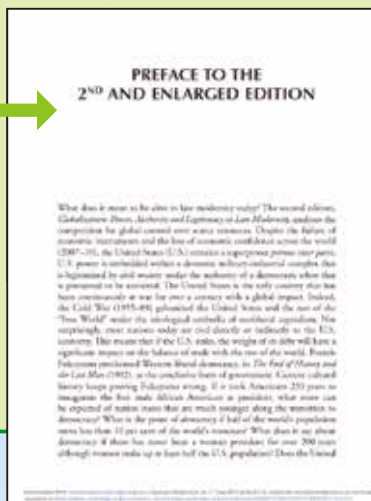
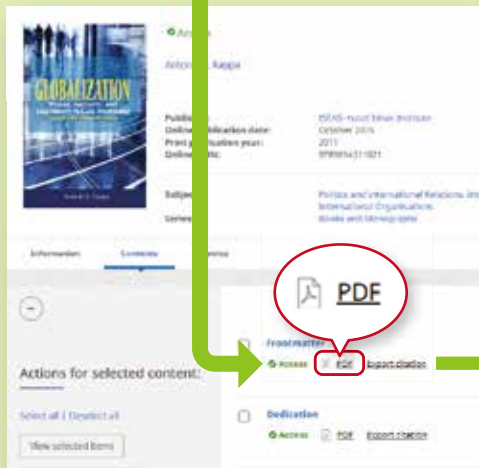


- データベース一覧
- 19th Century UK Periodicals, Series 1 - New Readings
 - 19th Century UK Periodicals, Series 2 - Empire
 - Academic Search Complete (EBSCOhost)
 - AGE Journals
 - Acta Sanctorum
 - American Antiquarian Society (AAS) Historical Periodicals Collection, Series 1
 - American Antiquarian Society (AAS) Historical Periodicals Collection, Series 2
 - American Antiquarian Society (AAS) Historical Periodicals Collection, Series 3
 - American Antiquarian Society (AAS) Historical Periodicals Collection, Series 4
 - American Antiquarian Society (AAS) Historical Periodicals Collection, Series 5
 - American Chemical Society Legacy Archives
 - American Chemical Society Legacy Archives
 - American Physical Society Journals
 - Bibliography of Asian Studies (EBSCOhost)
 - BioMedCentral
 - Britannica Online Japan
 - Business Source Elite (EBSCOhost)
 - Calvinista Journals - JSTOR
 - Cambridge Books**
 - Cambridge Collections Online
 - Cambridge Compositions Online
 - Cambridge EBA 2018

『Eリソースをキーワードで検索』の中から“Cambridge Books”をクリックすると、“Cambridge Core”のページに移動するよ。



興味のあるキーワードを入力して検索すると①、関連する電子ブックが表示されるよ。検索結果を電子ブックだけに絞り込みたいときには、“Content Type”の“Books”にチェックを付けてみよう! -②



Cambridgeの電子ブックは、アクセス数に制限がないから、貸出中で読めないなんて心配もないよ(電子ブックによってはアクセス数に制限があるものもあり)。電子ブックを始めとした、電子資料をたくさん活用してね!



①から③のどの方法で検索しても、検索結果の書誌情報の中にある PDF のアイコンをクリックすれば、電子ブックを読むことができるよ!

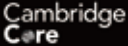


図書館からのお知らせ



Cambridge University Press 電子ブックの閲覧について

2019年3月31日まで



Cambridge University Press ケンブリッジ大学出版

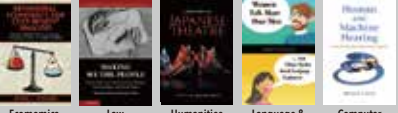
Access to over 12,000 eBOOKs on Cambridge Core

**12,000以上の電子書籍を
Cambridge Core上で閲覧頂けます**

!! Until 31 March 2019 2019年3月31日まで!!

Available titles published by Cambridge in 2013-2017
対象: 2013~2017年ケンブリッジ大学出版刊行タイトル

Subjects



Economics Law Humanities Language & Linguistics Computer Science

• Art • Books for teachers • Classical Studies • Drama and Theatre
• English Literature • Film, Media, Mass Communication • Management
• Music • Psychology • Religion • Sociology ... plus many more

Access to
アクセスはこちら
※学外からはVPN接続を
利用してください。

<http://ax5kr6fu7r.search.serialsolutions.com/>
or
<https://www.cambridge.org/core>



上智大学 CAMBRIDGE UNIVERSITY PRESS

今回の図書館日より2~4ページでも特集していますが、2013年から2017年に刊行された約12,000タイトルものCambridge University Pressの電子ブックを閲覧することができます。期間は、2019年3月31日までです。

これらの電子ブックが公開されているプラットフォーム”Cambridge core”では、電子ブックだけではなく、電子ジャーナルも横断検索できます。

URL

<https://www.cambridge.org/core>

2~4ページで検索方法をチェックの上、この機会に皆さんぜひご利用ください!



図書館地下2階と1階の改修について



■ 地下2階南側のシステム室内にあったサーバーを撤去したことにより、新たに地下2階に77㎡の共用スペースができました。

■ このスペースを活用し、増加し続ける学部図書を配架するため、

2018年8月に約8,400冊の図書が収容可能となる書架5本を増設しました。

また、低層階では初めてとなる、個人ブースを12席設置しました。同ブースは、1階中央窓側にも14席設置しました。集中して学習、研究を進めたいときに、ぜひご利用ください。

なお、多くの方が利用できるよう、長時間の場所取りは禁止ですのでご注意ください。



図書選定委員お薦めの本

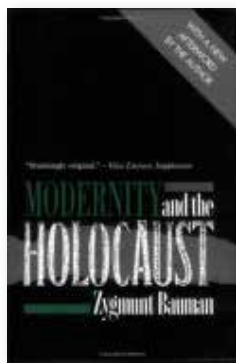
国際教養学部 国際教養学科 教授 SVEN SAALER

『Modernity and the Holocaust』

(Zygmunt Bauman・Cambridge: Polity Press, 1989) 書庫6階 D:804.3:B377:1989

『近代とホロコースト』

(ジークムント・バウマン著, 森田典正訳・大月書店, 2006) 学部地下1階 316.88:B283



「なぜ学者になったのか」と、たまに聞かれる。その答えはこの一冊にある。社会学者のジークムント・バウマンによる『近代とホロコースト』はかなりショッキングな著書であるが、1980年代に書かれたものにもかかわらず、近年の世界状況を理解するのに不可欠な一冊だ。

バウマンは本書で、ホロコースト(第二次世界大戦におけるユダヤ人大虐殺)の原因は近代国民国家そのものにあると力説している。戦後の歴史学はホロコーストをドイツ史とユダヤ人の歴史に属する出来事として理解し、これを無比な虐殺と説明してきたが、バウマンはこの見方を批判している。なぜなら、ホロコーストをドイツ特有の虐殺として理解すると、ドイツ以外のところでは同様のジェノサイドは起こり得ない、という結論にならざるを得ず、バウマンはこれを危険な結論であると主張した。ホロコーストをドイツ史とユダヤ人の歴史のみの出来事として理解すれば、多方面で同様のことが起こりうるという危険性から目を背けることになってしまうからだ。バウマンは、「ホロコーストは、近代合理社会のなかで文明が高い段階に達し、人類の文化的達成が頂点にいたったときに起こったのであるから、それは社会、文明、文化の問題である」と述べ、これは「自己破滅的な盲目である」と主張している。

この本は現在の世界について何を語っているのだろうか？バウマンが特に強調しているのは、ホロコーストの必要条件である。これらを見ると、ホロコーストはドイツ的な現象というより「近代」の産物だと思わせられる。特に彼が重要視しているのは、近代国家が個人を管理できる機能、「効率」を目的にして働く官僚、そして近代国家の産業力である。官僚が効率を重視して働き、産業が金欲以外の価値観を持たないまま動くことが大量殺戮政策を可能にする、とバウマンは主張している。ホロコーストでは、近代国家が人を「材料」とみなし、産業を動員し、「死の工場」と化した収容所でユダヤ人全滅政策が官僚の指示で「効率的に」遂行された、と。

監視社会、レイシズム、人を平気に収容所に送り込む政策や、一部のグループを差別しヘイトスピーチの的にするような現象が、近年世界中で増えているとされる。日本でもヘイトスピーチが最近大きなテーマとなっている。監視社会は他国に比べてまだそれほど進行していないかもしれないが、監視カメラを防犯カメラとして美化する動きが広く見られる。バウマンが定義したホロコーストの必要条件は、消えたのではなく、むしろ進化したといえよう。

これらの必要条件が揃っている中で、政敵、他人種、特定の宗教などを排除するように呼びかける政治家が現れれば悲劇が起こりうるというのが、バウマンの警告するところである。この文脈で言えば、近年一部の国に浮上してきたポピュリズムの危険性を過小評価することはできない。米国では、子供が収容所に入れられたりするなかで、元外務大臣の マデレーン・オルブライトがファシズムの危険性を警告している (Madeleine Albright: *Fascism. A Warning*, 2018)。複数の親戚をホロコーストで亡くした彼女のwarningとバウマンの警告が、真剣に受け止められる時期がきたと思わざるを得ない。

本文中で紹介されている、マデレーン・オルブライト著 “Fascism : a warning” も本学中央図書館で所蔵しています。(書庫4階 JC:481:A44:2018)

叡智が世界をつなぐ



上智大学
SOPHIA UNIVERSITY

上智大学図書館だより No. 28

発行所 上智大学図書館

〒102-8554 東京都千代田区紀尾井町7-1 TEL: 03-3238-3510 FAX: 03-3238-3139

発行日 2018年10月1日

印刷 三鈴印刷株式会社 TEL: 03-5276-0811